

第18回 通常総会 記録

日時 昭和62年6月6日 午後2時

場所 富山県農協会館

昭和61年度の事業の終了にあたり、ここに事業の概要並びに決算関係諸表についてご報告申し上げます。

本研究会は、昭和44年に創立されて以来農村における「くらしと健康を守る」運動を展開し、数多くの成果を上げてきました。ただ本県経済に占める農業のシェアは、就業人口で全就業人口（584,442人）に対する割合は54,465人、9.3%で年次的に減少の傾向にあります。

しかし、「疾病の背後に地域環境がある」といわれるように、私共は農村という地域に居住する人々を対象として健康管理活動を実施してきた訳であります。

本年度は、農業の近代化、あるいは転作による疾病構造の変化、特に農業機械による災害、農薬による健康障害について前年度に引続き研究調査を進めてきました。ことに本年度より厚生科学研究助成による「農村における死亡の実証的研究」、「農業生産活動における化学物質の人体の影響に関する研究」の2課題について、会員各位とともに調査研究を開始致しました。

他方、人口の高齢化が進み、本県における平均寿命は、男74.57才、女80.44才となり、高齢化社会の問題もないがしろにすることはできません。その家庭環境と養護の関係についても研究を通じて示唆を与えるため、特に精神面からの接触を深めたいと考えております。

本研究会は、県下全般にわたる医療関係者はもとより、行政、農協、さらにあらゆる職域の方々を網羅した幅広い結集により運営され、緊密な連携のもとに農村の健康管理の推進を行ってまいりました。

次年度も事業計画に基づき、さらに躍進を遂げたいと念願しております。会員各位の絶大なご協力をお願い申し上げます。

最後に県当局、農協各連よりの多大なご援助に対して厚く御礼申し上げます。

総会議事の概要

会員総数 251名 うち出席者91名 委任状139名

会長挨拶 豊田文一

議長選出 厚生連本所 木村実

議事録署名者 小矢部市 安宅清一 魚津市 清水忠夫

書記 荻野孝次 橋本賢治

議事 第1号議案 昭和61年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について

第2号議案 昭和62年度事業計画及び収支予算案承認について

第3号議案 役員の改選について

第4号議案 顧問の承認について

特別講演 農業生活総合センター 吉田政雄

演題 「健康を考えた農作業改善」

第5回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会記録

日時：昭和63年2月6日

場所：厚生連高岡病院
地域医療研修室

第5回の研究発表集会は、昭和63年2月6日、厚生連高岡病院にて、発表演題9題、参加約100名でおこなわれ、活発な討論がおこなわれました。

なお、発表演題名は下記の通りです。

< プ ロ グ ラ ム >

1. 会長挨拶 (13:40~13:45)

2. 会員発表 (13:45~ 発表時間10分 討論5分)

(座長 厚生連高岡病院院長 龍沢俊彦)

1. 農村婦人の健康意識 — 家庭介護研修会の受講者の意識調査より —

高岡市農業協同組合保健婦 荒木 富美子

2. 痴呆老人に対する看護 — 精神的安定をはかるため園芸を取入れてみて —

| | | |
|------------|--------|--------|
| 厚生連高岡病院看護科 | 茶谷 和 恵 | 阿原 幸子 |
| | 米嶋 美 恵 | 川合 巻子 |
| | 今村 真理子 | 川田 加寿子 |
| | 開発 邦 子 | |

3. グコヘモグロビンと肥満との関連について — 総合検診の結果より —

| | | |
|--------------|--------|--------|
| 厚生連総合検診センター | 小川 忠 邦 | 横山 正 洋 |
| 岸 宏 栄 谷川 秀 明 | | |
| | 松井 規 子 | 石倉 きみ子 |
| | 中井 陽 子 | 永田 隆 恵 |

4. 肺癌発見の現状並びに肺癌検診についての一考察

| | | |
|-------------|--------|-----------|
| 厚生連総合検診センター | 小川 忠 邦 | 中谷 恒 夫 |
| | 松井 規 子 | 岸 宏 栄 |
| | 永田 隆 恵 | 石倉 きみ子 |
| | 横山 正 洋 | (他スタッフ一同) |

*誌 上 発 表

「農村における死亡の実証的研究」について

富山県農村医学研究会 越 山 健 二

<特 別 報 告> (14:45~15:15)

千 保 川 を 語 る

富山県農村医学研究会長 豊 田 文 一

3. 閉 会 (15:15)

役 員 名 簿

昭和62年 6 月 6 日

| 理 事 | | | | 役 職 |
|--------|-------|-------|-----|----------------------------|
| 氏 名 | | | | 役 職 |
| 豊田文一 | 田井喜彦 | 文喜彦 | 一彦 | 金沢大学名誉教授 県医務課長 |
| 温長 | 瀬二朗 | 瀬二朗 | 二朗 | 県普及指導課長 |
| 荒尾行雄 | 尾行雄 | 尾行雄 | 行雄 | 県公衆衛生課長 |
| 中川秀幸子 | 川秀幸子 | 川秀幸子 | 秀幸子 | 富山保健所長 |
| 中田慶子 | 田慶子 | 田慶子 | 慶子 | 高岡保健所長 |
| 渡辺正男 | 辺正男 | 辺正男 | 正男 | 姫川病院長 |
| 中藤康俊 | 藤康俊 | 藤康俊 | 康俊 | 富山大学教授 |
| 越山健二 | 山健二 | 山健二 | 健二 | 全国国保医学会顧問 |
| 石田礼二 | 田礼二 | 田礼二 | 礼二 | 富山市民病院長 |
| 長谷田祐作 | 谷田祐作 | 谷田祐作 | 祐作 | 前国立療養所富山病院長 |
| 寺中正昭 | 中正昭 | 中正昭 | 正昭 | 城端厚生病院長 |
| 広瀬龍夫 | 瀬龍夫 | 瀬龍夫 | 龍夫 | 県医師会理事 |
| 西能正一郎 | 能正一郎 | 能正一郎 | 正一郎 | 西能病院長 |
| 北川鉄人 | 川鉄人 | 川鉄人 | 鉄人 | 北川内科クリニック院長 |
| 龍沢俊彦 | 沢俊彦 | 沢俊彦 | 俊彦 | 厚生連高岡病院長 |
| 小川忠邦 | 川忠邦 | 川忠邦 | 忠邦 | 厚生連滑川病院長 |
| 小館野政也 | 館野政也 | 館野政也 | 野政也 | 県立中央病院副院長 |
| 鈴木邦雄 | 木邦雄 | 木邦雄 | 邦雄 | こまどり養護学園長 |
| 河合木信一 | 合木信一 | 合木信一 | 信一 | 厚生連高岡病院健康管理科部長 |
| 八滝沢清志 | 滝沢清志 | 滝沢清志 | 清志 | 県農協中央会専務理事 |
| 竹部喜代子 | 部喜代子 | 部喜代子 | 喜代子 | 県農協青年組織協議会委員長 |
| 跡治順子 | 治順子 | 治順子 | 順子 | 県農協婦人組織協議会長 |
| 浦上節子 | 上節子 | 上節子 | 節子 | 県経済連生活総合課長 県農協生活指導員協議会長 |
| 監 事 | | | | |
| 大村沢汎 | 本武汎 | 本武汎 | 汎史 | 厚生連高岡病院副院長 高岡市農林部長 |
| 顧 問 | | | | |
| 中堀沖健 | 堀沖健 | 堀沖健 | 豊治一 | 富山県知事 |
| 村井多木幸外 | 井多木幸外 | 井多木幸外 | 一男 | 〃 市長会長 |
| 本窪藤松 | 窪藤松 | 窪藤松 | 造孝 | 〃 町村会長 |
| 山井井信 | 井井信 | 井井信 | 勝弘 | 〃 医師会長 |
| 戸山口光 | 山口光 | 山口光 | 一尚 | 〃 厚生部長 |
| 大小角秀外 | 角秀外 | 角秀外 | 二 | 〃 農業水産部長 |
| | | | | 〃 農協中央会長 |
| | | | | 〃 厚生連会長 |
| | | | | 〃 信連会長 |
| | | | | 〃 経済連会長 |
| | | | | 〃 共済連会長 |

昭和61年度 収支決算書

昭和61年4月1日～昭和62年3月31日

収入の部

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 増 減 |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 会 費 収 入 | 200,000 | 251,000 | 51,000 |
| 会 費 | 200,000 | 251,000 | 51,000 |
| 助 成 金 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 |
| 助 成 金 | 1,800,000 | 1,800,000 | 0 |
| 特 別 負 担 金 | 3,480,000 | 3,480,000 | 0 |
| 特 別 負 担 金 | 3,480,000 | 3,480,000 | 0 |
| 受 託 料 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 受 託 料 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 雑 収 入 | 39,736 | 178,601 | 138,865 |
| 雑 収 入 | 39,736 | 178,601 | 138,865 |
| 前 期 繰 越 金 | 217,834 | 217,834 | 0 |
| 収 入 計 | 5,837,570 | 6,027,435 | 189,865 |

支出の部

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 増 減 |
|-------------|-----------|-----------|----------|
| 会 議 費 | 790,000 | 632,215 | △157,785 |
| 総 会 費 | 100,000 | 116,865 | 16,865 |
| 役 員 会 費 | 500,000 | 336,400 | △163,600 |
| 専 門 委 員 会 費 | 120,000 | 138,950 | 18,950 |
| 編 集 委 員 会 費 | 70,000 | 40,000 | △30,000 |
| 事 業 費 | 4,600,000 | 4,592,195 | △7,805 |
| 研 究 調 査 費 | 2,100,000 | 2,220,265 | 120,265 |
| 研 究 集 会 費 | 450,000 | 472,650 | 22,650 |
| 会 誌 発 行 費 | 1,600,000 | 1,571,000 | △29,000 |
| 通 信 費 | 150,000 | 123,350 | △26,650 |
| 消 耗 品 費 | 200,000 | 196,130 | △3,870 |
| 備 品 ・ 什 器 | 100,000 | 8,800 | △91,200 |
| 旅 費 交 通 費 | 150,000 | 155,760 | 5,760 |
| 旅 費 交 通 費 | 150,000 | 155,760 | 5,760 |
| 事 務 費 | 240,000 | 240,000 | 0 |
| 事 務 費 | 240,000 | 240,000 | 0 |
| 雑 費 | 20,000 | 31,400 | 11,400 |
| 雑 費 | 20,000 | 31,400 | 11,400 |
| 予 備 費 | 37,570 | 0 | △37,570 |
| 予 備 費 | 37,570 | 0 | △37,570 |
| 支 出 計 | 5,837,570 | 5,651,570 | △186,000 |
| 次 期 繰 越 金 | | 375,865 | |

昭和62年度 事業計画書

昭和62年4月1日～昭和63年3月31日

① 事業方針

富山県内の農山漁村についておけるすべての健康問題を調査研究し、明るく健康な村づくりに寄与する。

② 事業内容

1. 農村の職業性疾患の調査研究

- ・農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究

2. 農業災害の調査研究

- ・農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する調査研究
- ・農業機械及び農業機械以外による農業災害事故調査研究

3. 農薬の生体に及ぼす影響に関する調査研究

- ・農薬中毒の実態調査
- ・農薬の生体に対する急性及び慢性的影響に関する調査研究

4. 健康管理に関する調査研究

- ・農業従事者の健康状態の把握と保健指導
- ・農業従事者の健康管理の調査研究
- ・農業従事者の成人病の実態調査とその対策に関する調査研究

5. 農村における社会医学的研究

- ・高齢者に関する研究
- ・社会変動による農業従事者の健康に及ぼす影響についての調査研究
- ・都市近郊農村における社会医学的研究

6. 農村における特殊疾患の調査研究

- ・伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究

7. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究

8. 乳幼児並びに学童の健康調査研究

9. 農村の健康会議、健康教室等の実施

10. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行

11. 研究集会の参加及び開催

12. その他目的達成に必要な事項

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原稿の送り先 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 Mocacus rlesus, 山椒藻 Salvinabatah等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm、センチメートルcm、グラムg、キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴジックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）
図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献 1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭和52.5のごとく。）
2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の箇所を最後に）

印 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

第19巻をここにお届けします。今回は、原稿募集から発刊までかなりの日時を要してしまい、最初に投稿された方々には大変ご迷惑をかけました。

昭和62年8月ハンガリーのペーチで開催された第10回国際農村医学会では本会会員5名の意欲的な発表をされ本会の活動が国際的広がりをもちつつあると言えます。本誌でも発表内容や学会の様子が報告されております。昭和63年度は、インドネシアのハサヌディン大学との学術交流も予定されています。

また、最近では農作業における健康障害に関する調査研究も鋭意行われ、さらに高齢化社会を迎えるに当たり、農村の役割が益々重要視されこの方面の研究も進んでいます。

次号では、これらの研究成果も是非発表していただきたいと思います。

なお、くれぐれも投稿される方は、投稿締切日を守っていただき、発刊に支障のないようお願い致します。致したいと思いますので、よろしくご協力下さいますようお願い致します。

(事務局)

編 集 委 員 越山健二、長谷田祐作、北川鉄人

富山県農村医学研究会誌 第19巻第1号 昭和63年3月25日印刷・昭和63年3月31日発行

富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)45-2307

編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 秋 元 敏 夫

印刷所 株式会社チューエツ 富山市上赤江町 電話(0764)32-4171
